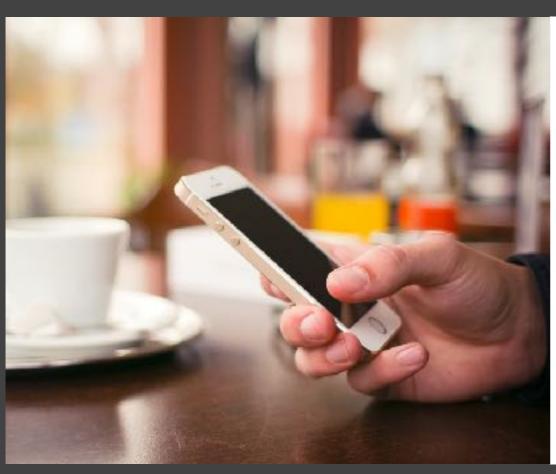
Cafe Sensor

高山 和幸

2017.07.08

企画タイトル

Cafe Sensor



企画内容:

カフェに環境センサーを置くことで 騒音(混雑状況)・温湿度をどこからでも スマホ上で確認できるようにする

ターゲット

CAFE: 個人経営のカフェ

利用者:カフェをよく利用する20~30代の東京都内在住 独身 社会人

課題

CAFE: 大手カフェチェーンと比べて利用客が少ない

利用者:都内のカフェが混雑していて、どこに行けば快適に過ごせるのか

わからない

他サービスとの違い



Google Map

- ・小さい個人店等だと、混雑状況を提供していない
- ・スマホの位置情報ベースのため、混雑情報しか提供していない

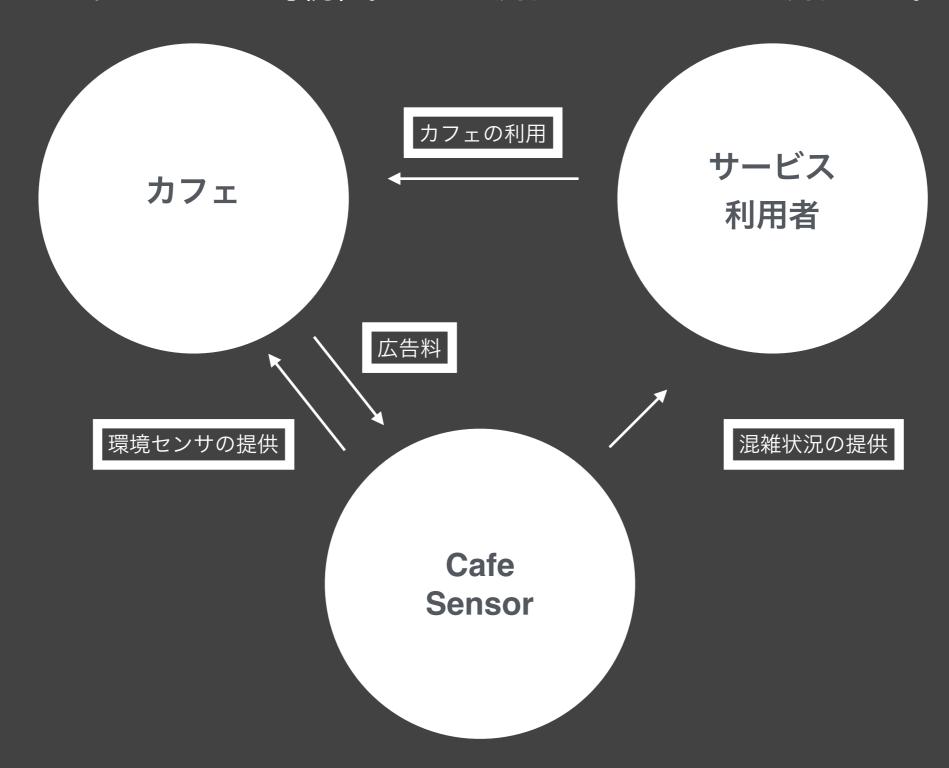


Cafe Snap (All About提供のカフェアプリ)

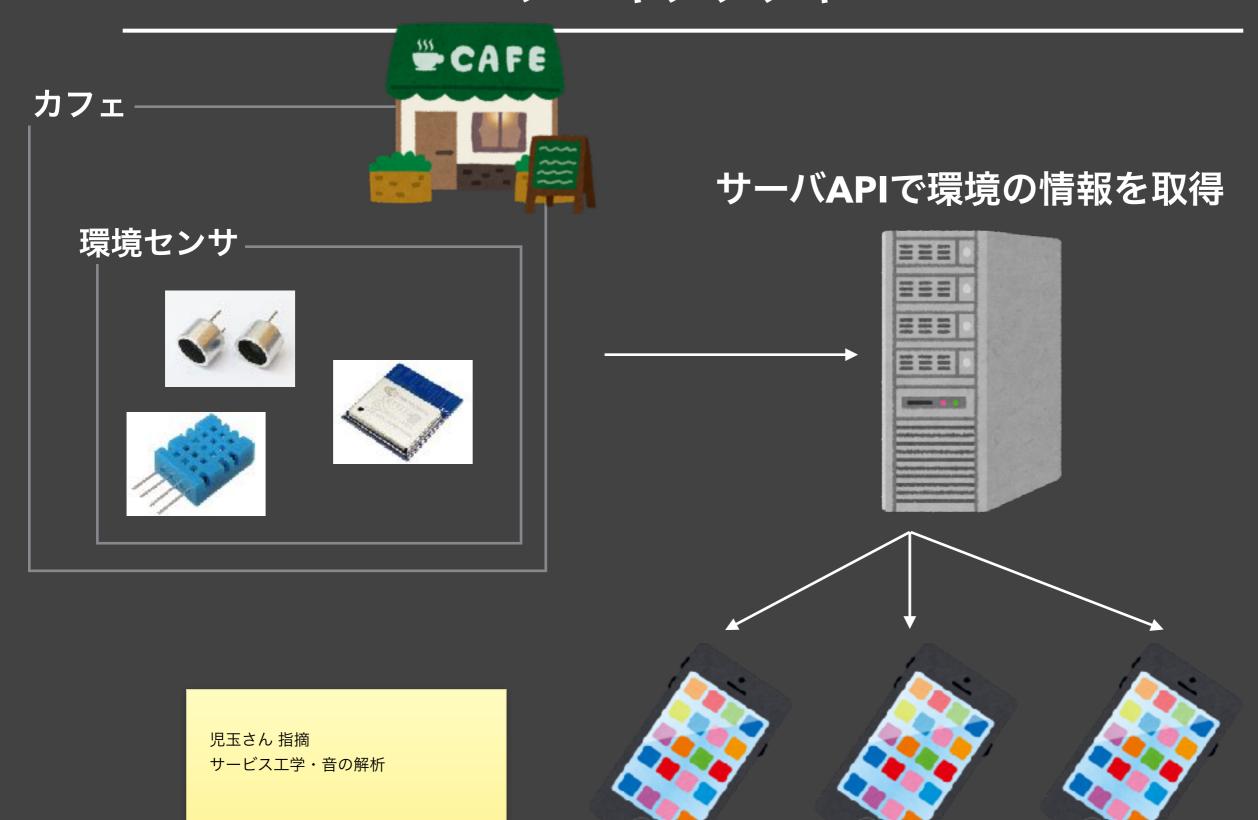
- ・カフェの食事の投稿は載せられるが、混雑状況は確認できない
- ・写真共有が中心

本企画のビジネスモデル概要

ビジネスモデルを可視化。お金の流れとコンテンツの流れなど。



アーキテクチャ



iPhone アプリで表示

利用する言語・技術

- ・環境センサ/WiFiモジュール
 - ESP8266(ESP)
 - · Arduino SDK
- ・サーバAPI
 - · Python
 - · Django
 - · Sqlite
- ・スマホアプリ
 - · Swift

機能一覧(1/2)

- ・環境センサ
 - ・温湿度を計測する
 - ・騒音を計測する
 - ・ 収集した温湿度/騒音をWi-Fi経由で送信する
 - ・Wi-Fiからセンサの位置情報を推定する(△)
 - ・Line Beaconでカフェの広告/情報を行う(△)
- ・サーバAPI
 - ・ カフェ/センサの位置を記録する
 - ・ カフェ/センサの環境情報を記録する
 - ・記録した情報をスマホで配信する
 - ・センサが置かれていないカフェについても参考情報として 外の気温等を表示できるよう他APIから情報取得する(△)

機能一覧(2/2)

- ・スマホアプリ
 - ・地図を用いてカフェを検索できるようにする
 - ・お気に入りのカフェを登録できるようにする(△)
 - ・お気に入りのカフェの環境情報が変化したら(静かになった等) 通知を行う(△)

 \triangle は $+\alpha$ として余力があれば実装

技術的課題

- ・音だけでカフェの混雑状況を把握することができるのか (場合に応じては、映像と組み合わせることも検討する)
- ・スマホアプリのデザイン/UI

7つの問い

誰の:「ターゲット」記載

どんな課題を:「課題」記載

どうやって: 環境センサを用いて

既存の代替品は: Google Mapや既存のカフェアプリ

市場規模は: カフェ市場は1兆円/loT市場は4兆円

なぜ今なのか: Wi-Fiに接続可能なモジュール/センサ類の低価格化

あなたがやる意味は: 清澄白河に在住しており個人経営のカフェによく行く